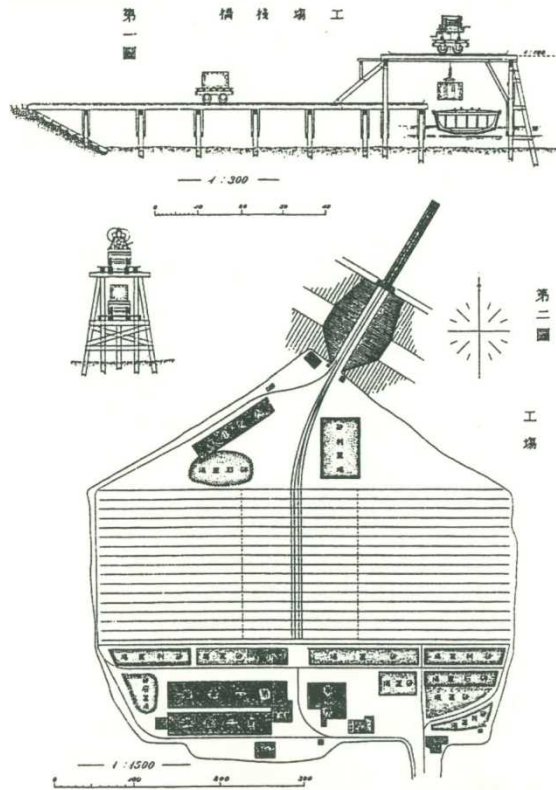


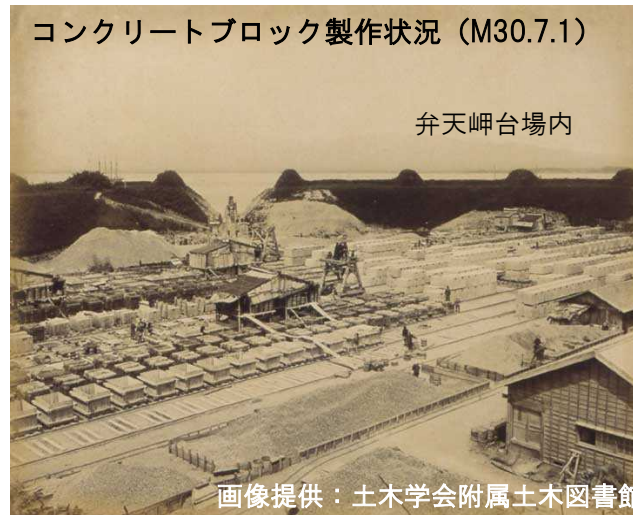
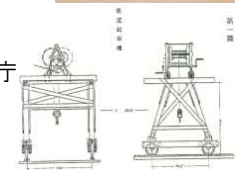
コンクリートブロックの施工方法

- 防波堤および埋立地の護岸に用いられたコンクリートブロックは、日本人による設計施工で大きな失敗も無く製作された第1号の防波堤用コンクリートブロックといえる可能性が高く、その総数は3,712個に及び、その内の558個は船入溜防波堤に使われました。
- コンクリートブロックの製作は、旧弁天岬台場跡地で行われ、製作されたコンクリートブロックは、起重機で積み出し台船で運んだ後、クレーン台船で吊り下げ、2人の潜水夫によって所定の位置に沈設されました。



コンクリートブロック積み出し栈橋（上）
弁天砲台跡のブロック工場（下）

出典：図は「函館港改良工事報文」（北海道庁
函館支庁、明治32年）



コンクリートブロック製作状況 (M30.7.1)

弁天岬台場内

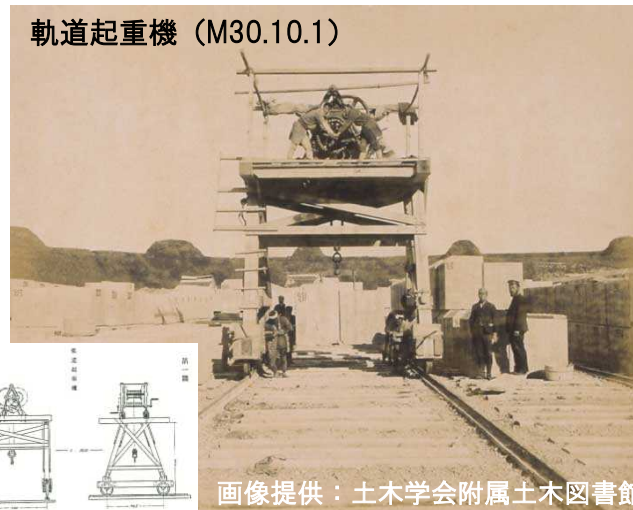
画像提供：土木学会附属土木図書館



コンクリートブロック据付状況 (M30.10.1)

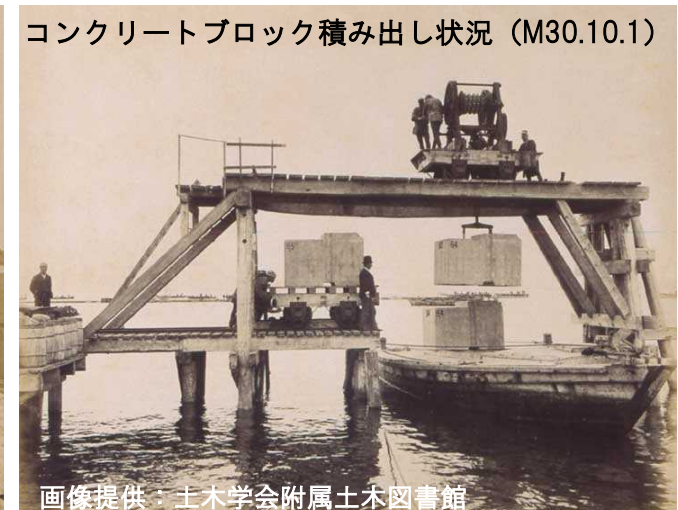
弁天岬台場

画像提供：土木学会附属土木図書館



軌道起重機 (M30.10.1)

画像提供：土木学会附属土木図書館



コンクリートブロック積み出し状況 (M30.10.1)

画像提供：土木学会附属土木図書館